

# 祖母山

【報告者】田中（み）

【日時】2008年1月20日

【天候】雨

【参加者】塩崎、田中（み）

## コースタイム

往路 <黒金山尾根コース>

7:13 尾平      10:10 黒金山尾根分岐      11:30 祖母山頂

復路 <宮原コース>

11:40 祖母山頂      12:30 宮原分岐      14:20 尾平

## 報告

天気予報の降水確率 80%のまま、福岡を出発。それでも内心、晴れると信じていた。星は見え、夜は暖かく（2度）、明日はやっぱり雨なのかなと思いながら、就寝。就寝直後、ポツポツと雨が降り出した。塩崎さんは、雨の山行だったら中止したけど、山頂付近で雨が雪に変わる瞬間を目にすることができることを期待して決行したとのこと。

今回の私の課題は、予定したコースタイムを意識して行程をこなすこと。いつも予定のコースタイムより遅れる原因は、私の下りにあるので、対策を考えて、登りを頑張って時間稼ぎすることにした。

7時13分 雨の中出発。塩崎さんは、大山山行に備え、ポッカ。  
雨の山行は初めての私。少し憂鬱な気分だったが、歩き始めると考えていたよりも不快でないことに気づき、雨の山を楽しんだ。朝靄が立ち込める光景は、深い山にふさわしく、雨に濡れた樹木は、色彩が一層際立ち美しい。コースタイムを考えて登りを可能な限り早いペースでと考えていたが、険しい斜面が続きスピードアップできない。標高 1000m を超した辺りから、ちらほら残雪が見え始めそのうち一面雪となった。途中から、動物の足跡が出現。鹿にしては、足跡の間隔が狭いと思い、塩崎さんにお尋ねすると、うさぎではとのこと。足跡の間隔からは納得したが、うさぎにしては足跡が大きい気がした。野生のうさぎは、たくましいから足も太いのか、それともジャイアントうさぎ並の大きさ？と想像しながら、しばらくうさぎの足跡を辿る感じに進んだ。足跡がついてから、まだそんなに時間が経過していない感じがしたから、うさぎに会いたかったけど、もちろん追いつくはずもなく。

天狗岩を通過し、10時10分黒金山尾根分岐着。予定より10分遅れ。ここから少し

進んだところでアイゼンを装着。前回、アイゼンの重みがあるため、再度靴ひもをしっかりと結び直す必要があることがわかっていたが、寒さで手が冷たい感覚を通り越し、「痛い」状態だったので、下手に結び直すと今の状態よりも緩くなる可能性があるため断念した。

山頂が近くなると、岩場があり一瞬息を飲んだが、難なくクリア。2回目のアイゼンで、前回よりも信用度UP。もっと疑うことなく信頼できるようになるとよいです。

11時30分。山頂着。予定より30分遅れ。アイゼンを外し、下山。本当は行動食をしっかりと取りたかったが、少しでもじっとしていると寒いので、食は後回しになった。おそらく黒金山尾根からの登山者は、私たちのみだと思うが、9合目の山小屋には、数人いた。

12時30分、宮原分岐通過。予定タイム通り。

この後の道のりで、初めての樹氷を目にする。それも白い樹氷でなく、クリスタルのように透明な樹氷。枝の一枝一枝に、葉の一枚一枚にびっしりと。キラキラ光るクリスタルのトンネルの中を歩く。きれいで何度も歓声をあげた。雨で、溶けかかった樹氷が再度凍って透明になったという塩崎さんの見解。ということは、この雨は幸運の雨。雨の祖母山からのプレゼントです。

14時20分尾平着。予定より20分遅れ。今回はアイゼンを装着したので、よしとしよう。コースタイムは、4,50代のパーティの山行記録を参考にされたそうです…。

塩崎さん、初めての祖母山行にチャレンジさせてくださりまして、ありがとうございました。

